

ハッピーキャス クランプキャス

再使用禁止

【警告】

- ・使用前及び穿刺中に、外套針の中で内針を前後に動かさないこと。
〔カテーテルが損傷し、カテーテルの破断、外套針からの漏血を生じる恐れがある。〕

【禁忌・禁止】

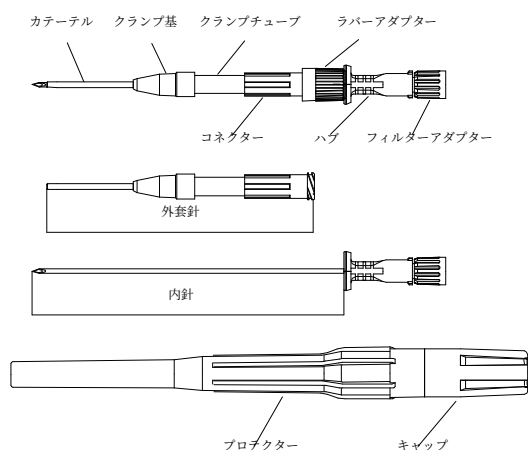
- ・再使用禁止
- ・再滅菌禁止

【形状・構造等】

<各部の名称>

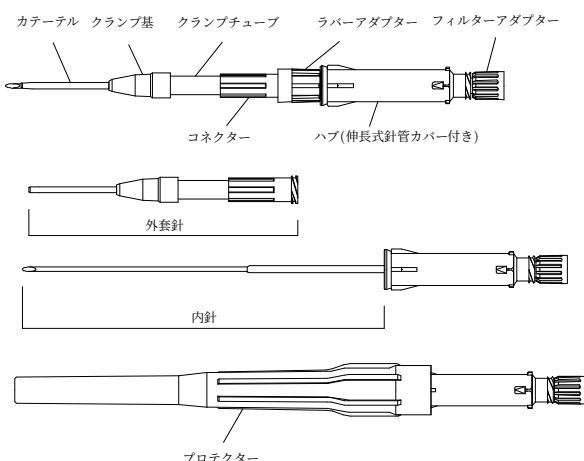
1. スタンダードタイプ

(代表図) 翼付きもある。



2. 伸長式針管カバー付きタイプ

ハブには使用後における誤刺を防止するための伸長式針管カバーを備えている。



本品はポリ塩化ビニル〔可塑剤：フタル酸ジ(2-エチルヘキシル)〕を使用している。

【性能、使用目的、効能又は効果】

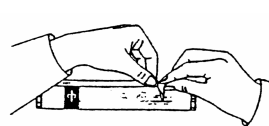
血管に穿刺し、輸血及び血液回路と接続して、回路の交換により連続使用可能であり、血管内壁の損傷を少なくする留置針である。

【操作方法又は使用方法等】

<スタンダードタイプ>

1. 包装を開封し、キャップを外す。

【注意】 包装の開封は、下図のように包装フィルムをつまんで1本ずつ開封すること。このとき、包装フィルムと一緒に留置針を握らないこと。



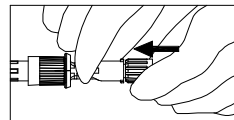
包装フィルムと一緒に留置針を握った場合や、あるいは数本まとめて開封すると内針を曲げる場合がある。

【注意】 キャップを外す場合は、キャップとプロテクターの接続部分を折るような操作をせず、まっすぐに引き抜くこと。キャップとプロテクターの接続部分を折るように外そうとすると、内針が曲がったり、留置針が飛び出したりする恐れがある。

2. ハブを持ち、針先を傷めないようにプロテクターを外す。

【注意】 プロテクター内部に針先が接触しないように注意すること。

※【注意】 フィルターアダプターがハブとしっかり嵌合していることを確認すること。また、フィルターアダプターを外さないこと。



※※ 3. ラバーアダプターを増し締めし、内針先端の状態を確認する。カテーテルが内針先端に覆い被さっている場合は、外套針のラバーアダプターがハブに接触するまで引き戻す。また、穿刺を行う前に、ラバーアダプターを左手で保持した後、内針ハブを右手で保持し、内針ハブを後端から見て反時計回りに半回転程動かし、内針の密着状態を外す。

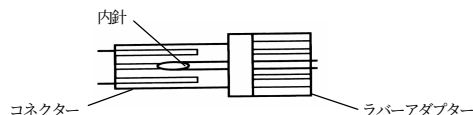
※※【注意】 穿刺を行う前に回転する操作を行わないと、密着によりカテーテルを血管内に送り込めない恐れや抜きの動作時に血管を傷つける恐れがある。

4. 刃面の向きを確認し、ハブを持って穿刺する。

【注意】 穿刺する前に、外套針の中で内針を前後に動かさないこと。

【注意】 外套針を持って穿刺しないこと。内針が後退し穿刺できない場合がある。

5. 血液の逆流を確認した後、内針先端をコネクター内部まで引き上げる。



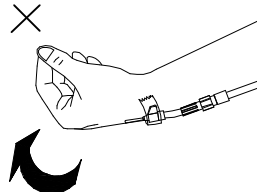
【注意】 内針は、カテーテルを真直ぐにして引き上げ、カテーテル内で前後に動かさないこと。



6. クランプチューブの中央部をクランプし、止血する。その後、慎重に内針を抜き去る。

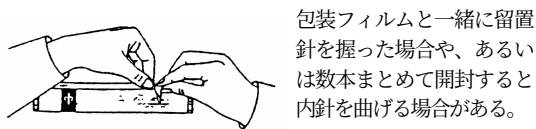
- [注意] 鉗子でクランプする場合は、鉗子の根元を使用しないこと。
クランプチューブを傷つける恐れがある。
7. ラバーアダプターを取り外し、クランプを慎重に緩め、逆流により
外套針内部をエア抜きする。
8. コネクターに血液回路をしっかりと接続する。
- [注意] コネクターと血液回路を接続するとき、過度に締め付け
ないこと。

9. 外套針及び血液回路のチューブをテープ等で固定する。
- [注意] 血液回路のチューブは輪状にして固定すること。
- [注意] 穿刺部位は上向きにし、穿刺部位を圧迫するような状態は
避けること。シーネ等の利用が好ましい。
- [注意] 翼付き針の場合、翼を含めて外套針全体をテーピング
すること。また翼のみにピンポイントで荷重がかかる
ような姿勢は避けること。
翼が脱落する恐れがある。

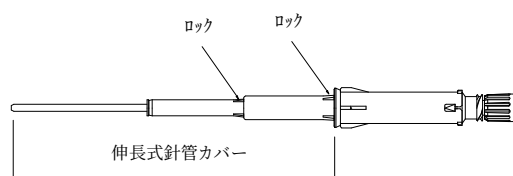


<伸長式針管カバー付きタイプ>

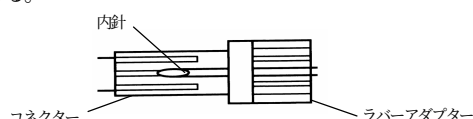
1. 包装を開封する。
- [注意] 包装の開封は、下図のように包装フィルムをつまんで1本ず
つ開封すること。このとき、包装フィルムと一緒に留置針を
握らないこと。



2. ハブを持ち、針先を傷めないようにプロテクターを外す。
- [注意] プロテクター内部に針先が接触しないように注意すること。
3. ラバーアダプターを増し締めし、内針先端の状態を確認する。カ
テーテルが内針先端に覆い被さっている場合は、外套針のラバ
アダプターがハブに接触するまで引き戻す。
4. 刃面の向きを確認し、ハブを持って穿刺する。
- [注意] 穿刺する前に、外套針の中で内針を前後に動かさないこと。
- [注意] 外套針を持って穿刺しないこと。内針が後退し穿刺できない
場合がある。
5. 血液の逆流を確認した後、ラバーアダプターを持ち、もう一方の
手でハブを手元側にスライドさせることで内針を伸長式針管カ
バー内に完全に収納する。
- [注意] 内針を伸長式針管カバー内に収納する際は、ラバーアダプ
ターをしっかりと保持すること。保持しない場合、血管に挿入
したカテーテルが抜ける恐れがある。
- [注意] 内針は、カテーテルを真直ぐにして引き上げ、カテーテル内
で前後及び回転方向に動かさないこと。
- [注意] 伸長式針管カバーを「カチッ、カチッ」と2回音がするまで
引き伸ばし、内針の先端がカバー内に完全に収納されたこと
を確認すること。



6. 伸長式針管カバーをかけた内針の先端をコネクター内部まで引き
上げる。



7. クランプチューブの中央部をクランプし、止血する。その後、慎
重に内針を抜き去る。

- [注意] 伸長式針管カバーをかけた内針の先端がクランプチューブ
内になことを確認すること。内針先端がクランプチューブ
内にある状態でクランプするとクランプチューブを傷つける
恐れがある。
- [注意] 鉗子でクランプする場合は、鉗子の根元を使用しないこと。
クランプチューブを傷つける恐れがある。
8. ラバーアダプターを取り外し、クランプを慎重に緩め、逆流により
外套針内部をエア抜きする。
9. コネクターに血液回路をしっかりと接続する。
- [注意] コネクターと血液回路を接続するとき、過度に締め付け
ないこと。
10. 外套針及び血液回路のチューブをテープ等で固定する。
- [注意] 血液回路のチューブは輪状にして固定すること。
- [注意] 穿刺部位は上向きにし、穿刺部位を圧迫するような状態は
避けること。シーネ等の利用が好ましい。

<使用方法に関連する使用上の注意>

- ・外套針のクランプチューブ以外を鉗子で挟んだり、指、爪でつぶし
たりしないこと。また、翼のみを引っ張ったり無理な荷重をかけない
こと。
- ・コネクター及びハブへのアルコール、消毒液、局所麻酔剤等の薬液
の付着は避けること。
- ・内針を曲げる等加工して使用しないこと。
- ・外套針を屈曲部に留置する場合は、屈曲部をシーネ等で固定する
こと。

※・使用目的以外の用途に使用しないこと。

【使用上の注意】

- ・本品は可塑性であるフタル酸ジ(2-エチルヘキシル)が溶出する恐れ
があるので、注意すること。
- ・包装が氷濡れ、開封、汚損している場合や、製品に破損などの異常
が認められる場合には使用しないこと。
- ・包装を開封したら速やかに使用すること。
- ・使用後は感染防止に留意し、安全な方法で処理すること。尚、プロ
テクターに内針を戻す場合は誤刺に十分注意すること。
- ・全ての操作は無菌的に行うこと。
- ・本品は、手技に精通した術者が使用すること。
- ・適用サイズを使用すること。

【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

<貯蔵・保管方法>

水濡れに注意し、直射日光及び高温多湿を避けて保管すること。

<有効期間・使用の期限>

包装の使用期限を参照（自己認証による）

【包装】

100 本／箱

※【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

製造販売業者：東郷メディキット株式会社

住所：〒883-0062 宮崎県日向市大字日知屋字亀川 17148-6

電話番号：0982-53-8000

製造業者：東郷メディキット株式会社

住所：〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目13番2号

販売業者：メディキット株式会社

住所：〒113-0034 東京都文京区湯島1丁目13番2号

電話番号：03-3839-0201

